



キュー国立植物園

「おりおりの植物」

ロンドンを2度訪れたことがあるが、1つだけ悔やまれることがある。それは「キュー国立植物園」に行かな

かったことだ。当時、今程植物に関心がなく、250年の歴史をもつこの植物園に足を運ばなかつたことが今も悔やまれる。

イギリスと言えば、世界から集められた人類の歴史がわかる大英博物館。勿論、こ

ちらは2度訪れた。世界中から盗み取ったものとの悪評もあるが、と

リッパ皇太子妃のオーガスタ妃によって設立されたキューガーデンには、世界から集めら

れた700万の標本と知識が蓄えられてい

る。所で、ビアトリクス・ポターを御存知だろ

うか。と言うより「ピーターラビット」など絵

本作家と言えば、知っているという人も多

いと思う。イギリスを訪れた時、ポターの家は

見て廻った。実は、彼女は絵本作家になる前、キュー

ガーデンでカビの研究をしていた。当時はま

だイギリスでも女性の地位は低く、結局絵

本作家になつたらしい。当時ポターが研究し

ていたのは、アイルランドを中心に流行して

いた「じゃがいも枯れ病の菌」についてであ

る。我々は植物園とい

えば美しい花々を見て廻る観光名所と思いがち

である。しかし、イギリスの国立植物園・

キューガーデンは、人

類が生きていくのに欠くことが出来ない植物

の研究を250年にわたつて続けているという

から、イギリスの懐の深さを実感させられた。それは植物に限ったものではない。動物

ピーターラビットの絵本

THE PETER RABBIT BOOKS
by Beatrix Potter

1



ビアトリクス・ポター さく・え いいもちこ やく

キューガーデンの植物誌



ビアトリクス・ポターの絵本



バラが心を癒やしてくれる

「キューガーデンの植物誌」を買い求めた。高校の生物の時間で、メンデルのエンドウ豆の遺伝の法則を教えられたことを思い出す。メンデルはエンドウ豆の花、種子、豆の色などエンドウ豆の特性を観察し、親の形質が子孫に遺伝する法則の解明に大きく貢献した。その花も奥行き深い美しさを持っている。